

にゅう ぜん まち

**入善町**

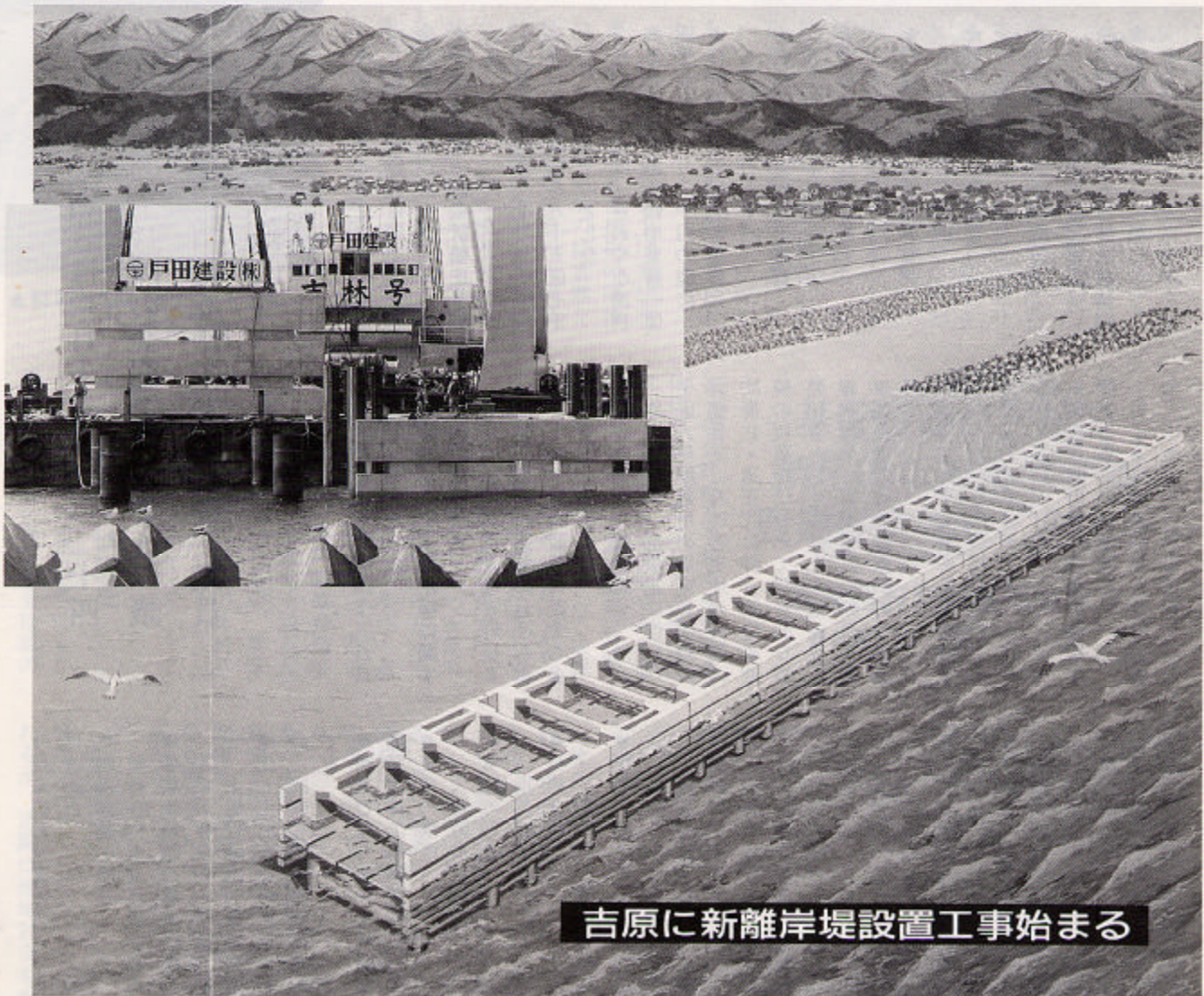
# 議会だより

No.85号

平成5年8月12日

発行 入善町議会

編集/入善町議会だより編集委員会  
富山県下新川郡入善町入膳3,255  
TEL 0765 (72) 1100  
FAX 0765 (74) 0067



**吉原に新離岸堤設置工事始まる**

米市場開放阻止ならびに平成5年産米の政府買入価格  
米穀政策の確立に関する意見書  
政府・関係機関に提出

暑中お見舞い申し上げます

入善町議会



水キラキラ 町いきいき 入善

# さわやか漁村海岸整備事業などに 3億4千880万円を追加

一般会計総額・95億7,630万円

六月定例会は六月十五日から二十四日までの十日間の会期で開催され、議案十二件、請願五件、陳情五件、議員提出議案一件について審議した。

今回の議案の中には、町立ひばり野小学校建設に関する工事請負契約三件がある。

※平成五年度一般会計補正予算(第一号)

三億四千八百八十七万円を追加し予算総額を九十五億七千六百三十万七千円とした。

今回の補正は、さわやか漁村海岸整備・漁港改修事業費一億四千八百六十二万二千円その他に

★合併四十周年記念事業費 七百四十六万五千円

★農村基盤総合整備事業費 五千四百四十六万六千円

★県単土地改良事業費 二千四十一万四千円

★幹線道路改良舗装事業費 三千六十五万三千円

★舟川環境整備事業費 二千二万円

★二〇〇〇年国体事業費 千九百九十七万円などがある。

※平成五年度老人保健医療特別会計補正予算(第一号)

五千二百九十八万三千円を追加

加し総額を二十七億四千三百八十三万三千円とした。

※町選挙ポスター掲示場に関する条例の全部改正

十月に任期満了となる町長及び町議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の全部を改正した。

※町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、平成六年度適用の固定資産税の評価替えにおける宅地の評価の均衡化・適正化に伴う固定資産税の税負担について総合的な調整措置として、住宅用地に係る課税標準の特例措置を拡充する。

※国民健康保険税条例の一部改正

均等割、平等割を四割減額する一人当たりの所得基準額二十二万五千円を二十三万円に改める。

※町母子家庭等医療費の助成に関する条例の全部改正

母子家庭等を「ひとり親家庭等」に改正し、対象者を「ひとり

親家庭の父又は母及び児童」に改めた。

※町道路線の廃止

福島合口用水沿線を廃止した。

※新規土地改良事業計画

平成五年度から平成八年度まで、上飯野地内の農業交通の円滑化と生活環境の整備を図るため、団体営農道整備事業を導入する。

代表取締役 宝泉 幸晴

※電気設備工事請負契約

●工事の場所 入善町舟見地内

●契約の方法 指名競争入札による契約

●契約金額 一億二千三百四十九万七千円

●契約の相手方 高岡市問屋町一株式会社 開進堂

代表取締役 山崎 義行

※給排水設備工事請負契約

●工事の場所 入善町舟見地内

●契約の方法 指名競争入札による契約

●契約金額 六千七百八十七万七千円

●契約の相手方 上田・新田・本田給排水設備工事共同企業体

構成員(代表者) 入善町入膳三三一七 有限会社 上田管工事工業所

代表取締役 上田 修一

構成員 入善町新屋一〇六四 有限会社 新田配管工業

代表取締役 新田 勉

構成員 入善町木根六八五 有限会社 本田工業

代表取締役 本田 伸良

代表取締役 高源 忍

構成員 入善町入膳一九六六 中山建設株式会社

代表取締役 中山康大

構成員 入善町入膳五五四 株式会社 五十里工務所

代表取締役 五十里乙松

構成員 入善町上野一七四七 吉原建設株式会社

代表取締役 高源 忍

構成員 入善町入膳一九六六 中山建設株式会社

代表取締役 中山康大

構成員 入善町入膳五五四 株式会社 五十里工務所

代表取締役 五十里乙松

構成員 入善町上野一七四七 吉原建設株式会社

代表取締役 高源 忍

構成員 入善町入膳一九六六 中山建設株式会社

代表取締役 中山康大

構成員 入善町入膳五五四 株式会社 五十里工務所

代表取締役 五十里乙松

構成員 入善町上野一七四七 吉原建設株式会社

## 入善中学校

### 校舎を改造

※工事請負契約について

●契約の目的

入善中学校大規模改造工事

●工事の場所

入善町入膳地内

●契約の方法

指名競争入札による契約

●契約金額

九千三百七十三万円

●契約の相手方

入善町入膳五五五四

株式会社 五十里工務所

代表取締役 五十里乙松

## 議員提出議案

※町農業委員会委員の推薦

平成五年七月十九日に任期が満了するため、委員として次の五名を推薦した。

入善町舟見一〇九四―二

山本外輝雄

入善町上野二一八〇

板川 俊人

入善町藤原三〇

池原 賢晴

入善町西中三九九

舟本 政男

入善町下飯野四六一五

伊多政太郎



▲改造工事の完成がまたれる入善中学校

## 請願陳情の結果

★町道東町中学校線の改良方請願 (採択)

★「食糧の自給確保のための宣言」を求める請願書 (採択)

★米市場開放阻止ならびに平成五年産米の政府買入価格、米穀政策等の確立に関する請願 (採択)

★企業・団体献金の禁止を求める意見書についての請願 (不採択)

## 第28回

# 臨時議会

5月18日

※平成四年度一般会計補正予算 (第六号)

四億三十八万二千円を追加し、

総額を百一億四千二百四十六万九千円とした。

※平成四年度国民健康保険特別会計補正予算 (第三号)

五千五百七十九万四千円を減額し、総額を十五億七千五百八十七万八千円とした。

※平成四年度簡易水道特別会計補正予算 (第二号)

五百七十万円を減額し、総額を二千六百二十四万四千円とした。

※平成四年度分譲宅地特別会計補正予算 (第二号)

七百七十一万七千円を減額し、総額を三億四千六百三十三千円とした。

※町税例の一部改正

自治省令の一部改正に伴い、

均等割、所得割の非課税となる最低限度額を引き上げ、低所得者の負担軽減を図る。

※コミュニティ活性化センター新築工事建築主体工事請負契約について

●工事の場所

入善町一宿地内

●契約金額

一億三千九百六十一万六千五百円

●契約の相手方

大信・野沢共同企業体

構成員(代表者)

入善町入膳三九五七―二

大信建設興業株式会社

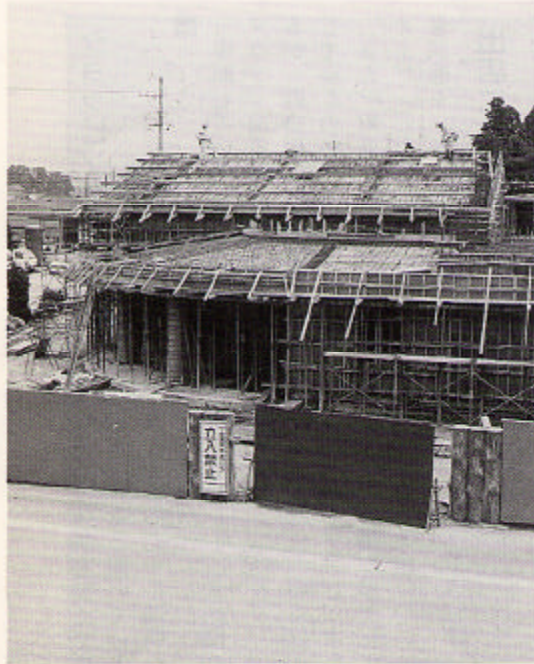
代表取締役 木本 勲

構成員

入善町青木六〇―一

有限会社 野澤工務店

代表取締役 野澤 嘉道



▲建設中のコミュニティ活性センター

町政に対する

# 一般質問

6議員登壇 《6月18日》



## 景気・円高問題

### 町政執行にどう認識

広瀬 喜代志 議員（自民）

問

わが国経済は深刻な景気調整の渦中にある中、円は強さを増し、不透明な経済に一層拍車をかける状態になっている。

町長は町政執行にあたり「町民のための町民による政治」と言っておられるが、景気、円高問題について、現在の入善町の企業や近隣の企業の状態をどのように認識しているか。

また、今盛んに行なわれている駅前開発についてはどうか。

#### 町の産業に強い影響

#### 町税収は確保

町長

急激な円高は、景気のリード役を果たしてきた自動車、電子機器産業等、本町の産業にも強い影響があると考えている。このことにより輸出関連業種の採算の悪化、雇用、町税への影響が心配されるが、税収については当初予算額は確保できると思っている。

また、国内消費、国内関係の



▲円高の影響を受けやすい電子機器産業（黒東電子工業）

## ショッピングタウン

### 再開の対応は

問

中断していた「ショッピングタウン」が再開するとの話があるが、町当局はいかなる対応をしていくのか。

また、町商工会も力を入れてオープンした「コスモ21」の経営状態をいかに把握しているか。

#### 出店には協力

町長

ショッピングタウンは、平成3年7月に出店表明をしたが、平成5年2月に届け出が取り下げられている。

新しく体制を整えて再計画を立てていると聞いているが、現在のところ若干不透明なところもある。出店するという事に決まれば協力をしなければならぬと考えている。

コスモ21については、三十二店舗がオープンし、中央商店街から十七店舗が参加している。具体的な実績について数字では入手していないが、オープンしてから半年であり、詳しい実態は把握していない。

#### 四選挑戦への

#### ビジョンは

問

わが国は官僚性民主主義のため発展を成し遂げられたことは事実であるが、最大の悩みは目標に到達したのち、その先が描けないのが欠点だといわれている。町長は過去12年近くに及ぶ政権を担当してこられたが、これからのビジョンに何を携って四選に挑戦されるのか。

#### 町民の声・先見性

#### 柔軟に着実に対応

町長

時代が大きく流れ変化している中で、どう受けとめて対応していくかが行政をあずかる者の大きな責務だと考えている。「声なきを聞き形なきを見る」



▲介護実習に励む農協婦人部（JA入善町本所）

いわゆる弱い立場の皆さんの声も十分聞き、形が出来ない先にそれを見るところ先見性を大切にしていかなければならぬと常に自分に言い聞かせている。変化を求めるのも結構だが、入善町においては財政上から大きな変化はできない。確実に町民の皆さんの声を聞いて、議会と十分連絡をとりながら変化に著実に柔軟に対応して、町民の幸せのために入善町政をやっていきたくと考えている。

## 老人保健福祉計画 策定方法と基本は

本多幸男 議員（清新ク）

問

老人保健福祉計画は本年度中に提出が義務づけられ、策定にあたり各自自治体では独自作成や一部委託、全部委託が行なわれている。入善町の策定方法と進捗状況はどうか。

また、在宅福祉を計画の中心に据えたとあるが、計画策定の基本は何か。

### 策定委員会を設置

#### 町の特性を反映

町長

計画策定にあたり、五月に町民各界各層の代表二十名を委嘱して委員会を設置し、年内作成を目指している。

現在までの調査は一部コンサルタントに委託したが、今後はこれを基本に町の特性を十分反映させた、手作りの計画を策定したい。

計画立案にあたり、保健と医療、福祉の一本化を第一に、健康教育の推進、寝たきりゼロ、生きがいづくり、地域福祉の増進の五本の柱を基本に考えている。

### 一年契約の雇用

#### 定年制の導入を

問

ホームヘルパーの共済制度の適用や病気休暇の新設等、徐々ではあるが労働条件の改善がな

され評価するが、雇用が一年契約と不安定である。高齢化社会に対応し、第一線で働くホームヘルパーの定年制や退職金の支給等の改善の考えはないか。

### 採用は困難

#### 待遇改善に努力

町長

高齢化に伴い施設の利用も増え、在宅介護に負う処が大きく、ホームヘルパーの果たす役割りは大きい。定数の問題等で採用は困難である。

しかし、共済組合加入、病気休暇、ボーナス支給等、待遇改善に精一杯努力している。

また、先の法改正でJAでホームヘルパー制度が導入され、今後はJA入善とも十分連絡を取りながら対応していきたい。

### 老人ホームの利用状況は

問

特別養護老人ホームの入所及び入所待機中の人数は何人か。また、ショートステイをはじめ在宅福祉サービス事業等の利用状況を問う。

### 常に満床

#### 特養ホームを建設

町長

舟見寿楽苑には百床のベッドがあり、入善町で六十八名、朝日町十三名、宇奈月十七名、外

二名で満床となっている。

また、二十名の入所希望があるが、空所がない限り入所できない状態であり、近い将来も一カ所特養ホームを建設すべきと考えている。

### 福祉課長

舟見寿楽苑に委託している事業のショートステイは常時五名から八名、ホームケアは五名、デイ・サービスは一日二十二名程度、デイホームは常時三名でそれぞれ余裕があり、ふれあい温泉は一日約四百名余りの利用がある。

六月にオープンした在宅介護支援センターは社会福祉士と看護婦の二名が常駐し、最終目標のホームヘルパー派遣まで事業の拡大を図っていきたい。

### 健康センターの改善

#### 町の将来像を描け

問

町の健康センターは昭和四十八年に建設され、業務は多様化し、かつ利用者も増え駐車場を含め手狭となっている。中央通り線との関連上周辺の土地利用を含め早急な対策が必要と思うがどうか。

今日、公共用地の確保は非常に難しく、今から町の将来像を描き、第二特養老人ホームや健康センター、下水道終末処理場など主要プロジェクト事業の青



▲老朽化等で、時代に即応できない健康センター

図づくりや用地確保に着手する考えはないか。

### 健康ふれあいプラザ

本年度中に用地を

町長

保健サービスの拠点として、全国に先がけ健康センターが設置され、町民の健康づくりに大きな役割を果たしてきた。今は建物も古くなり、駐車場も含め時

代に即応できない状態である。もう少し内容の充実した健康ふれあいプラザ的なものの建設が望ましく、用地は本年度中に探したい。

特養老人ホームは関係の皆さんと十分連絡をとり、利用者に喜んでもらえる場所に建設したい。終末処理場は、海岸寄りに先行取得の形で求め、下水道事業にも拍車がかかればと考えている。

### 総合病院は

広域圏行政の中で

問

町民の要望が強い総合病院、新川医療圏のベッド数は必要基準を超えており、今後は一市一町の公立病院経営から広域圏行政の中で、民間活力ともタイアップし、取り組む時代になると考えるが、当局の基本方針を問う。

### 専門家・学識経験者で

審議会を設置

町長

総合病院については、先般、坂本病院より経営の委託の申し入れがあり、町としても五年度予算に調査費を五十万円計上している。今後は、入善町の医療の実態や将来の見通しなど長期的に考え、これに対応すべき審議会を作り意見を取りまとめるため、専門家や学識経験者の中から至急人選を行い、具体的な作業に入りたい。

病院経営が赤字でも、身近に利用できる安心という事であれば、お金の問題ではないと思うが、やはり無視できないのが実態である。ご指摘のとおり、近い将来新川広域圏でこの問題を論議すべきと考えている。

## 非核平和の取り組み 内容に工夫を 教育の役割も重要

九里郁子議員(共産)



▲入善町平和祈念式典(8月6日)

問

議会が非核平和都市宣言を決議して五年になる。

非核行政は住民自治と住民参加によって支えられなければならない。八月六日の広島平和記念式典に当局、議会の代表とともに町民派遣を考えてはどうか。

町の記念式典への町民に参加の呼び掛けや、広島に原爆が投下された時刻に町内の寺院に一齐に鐘を鳴らしてもらう要請等工夫が必要でないか。

学校と社会教育での平和教育の果たす役割は一層重要になってきていると考えるが、町合併四十周年の記念すべき年にあた

り、さらに内容に工夫を重ね、努力していく考えがあるか。

### 平和記念式参列

#### 町民に呼び掛け

町長

非核平和意識の啓蒙については今後も粘り強くやっていかなければならぬ。平和記念式典に広く町民の参加を求め、ことについては町の広報を通じてやりたい。

広島、長崎の大会については町民の皆さん、関係団体にも呼び掛け参加するような道を開きたい。また、平和の鐘については機会をみて協力要請をしたい。

#### 教育長

小中学校における平和教育については文部省の指導要領に基づき行っている。特に日本は唯一の被爆国であり、核軍縮に貢献することに子供たちに徹底している。

映画等を利用して戦争の悲惨さを訴えるということについては検討していきたい。

### 往還道の黒松

#### 保存整備に努力を

問

加賀藩時代の往還道の黒松も貴重な文化遺産であり、後世に伝えていく使命がある。舟見から明日に至る並木は台風や着雪による倒木、枯死などによりわ

ずかを残すだけとなったが、町の保存木制度に基づいて可能な箇所に補植するなど、部分的な復元を含め、保存整備に努力する考えがあるか。

また、歴史を記した表札などで存在と意義を広く町内外の人たちに知らせる工夫があってもいいと考えるがどうか。

### 松並木復元は困難

町長

舟見の御前林の松並木復元、補植については、新たに路肩に大木となるような松を植樹することは県のほうでも許可をしないのが原則のようであり、同じ場所に復元をすることは困難でないか。保存については樹医制度もあり、衰弱した樹木に薬剤注入などを考えたい。

説明文の設置については手当

てををしたい。

### ごみの減量化

#### 対策と効果は

問

新川広域圏では家庭ごみ収集の有料化を考えているようだが、ごみ収集を有料化した所では河川や道路、空き地の草むらに不法投棄が増えたとの報告がある。

ごみ減量化のための有料化をどのように考えるか。製造者の責任回収を図るべきで、住民から金を取って始末する考え方は受け入れることはできない。

ごみを減らし、リサイクルを進めるためには町民の協力は重要だが、町の施策はどのような効果を上げているか。

回収業者の果たす役割も大きい。業者の経営安定を図る公的助成制度を考えてはどうか。

### 器具導入に補助

#### ごみは減量へ

町長

ごみの収集は町村の固有事務であり、個人の有料化は考えていない。

缶の問題等については、今年度には漬す機械を二台増設し四台を町民の皆さんに利用いただいている。自動販売機を設置した場合は缶の始末は設置者で負担するよう、行政の範囲内で要望し、全国的な立場で考えていかなければならないと思っている。

雑誌等の業者の引取に關しては処分実費プラス手数料を考えていかなければならないと思っている。

#### 環境保健課長

ゴミ減量のため簡易焼却炉、生ごみ処理器等、各種の補助金を出している。可燃ごみ、不燃ごみとも前年度より減っている。

### 高齢者ニーズ調査

#### 結果の受けとめは

問

老人保健福祉計画は高齢者世代の問題としてのみとらえ限定しているが、老人保健事業は四十歳から、福祉事業は六十歳以上を対象としている。十年計画である以上、この年齢枠より十歳低い世代の状態を見る必要がないか。高齢者ニーズ調査の結果をどのように受けとめている

か。

本町は他の自治体に比べ施策を知らないという意見があるが、どのように受けとめ、どう対応するのか。

### 在宅志向顕著

#### 計画に反映

町長

本多議員の質問にも答えていたが、各種団体との懇談会、聞き取り調査をし、広範な意見を集約して入善町の特性を十分反映させた形で計画を策定したい。

#### 福祉課長

寝たきりや、虚弱老人になっても家に居たいという在宅志向が特に言われている。

高齢者ニーズ調査を詳しく分析し、計画に反映させたい。

### 農地高度化事業を

問

中山間地では、段差が大きく広い畦の草刈りや、ケラ、モグラ等による畦畔の傷みを防ぐ手だてが大変だということで耕作放棄田が増えている。

農地高度化事業を取り組めな

### 導入を検討

町長

法面処理工事等、畦畔の補助問題など県とも相談し、導入について検討を重ねたい。



▲資源のリサイクルは重要  
(缶の回収活動)

# 県からの出向ゼロ

## 損失の風評

### どう受けとめる

大林 政雄 議員（自民）

問

本町においても県庁からの出向を仰ぎ町政運営の一翼を担っていたことがありますが、現在はゼロである。

県からの出向者がいないため県庁とのパイプが細く、隣接市町より大きな損失を被っているとの風評があるがどうか。

職員の市町村への出向は地方自治の自主制確立にどのような効果、影響を及ぼしているか。

### 出向は一時的措置

#### 財政的不自由ない

町長

町の行政をあずかる責任者の立場で考えると、出向については一時的な経過措置としては止むを得ないと思うが、原則としては役場の中で助役や課長を確保していくのが一番いいのではないか。

県職員は大局的な立場で物を考えることに慣れており、そう

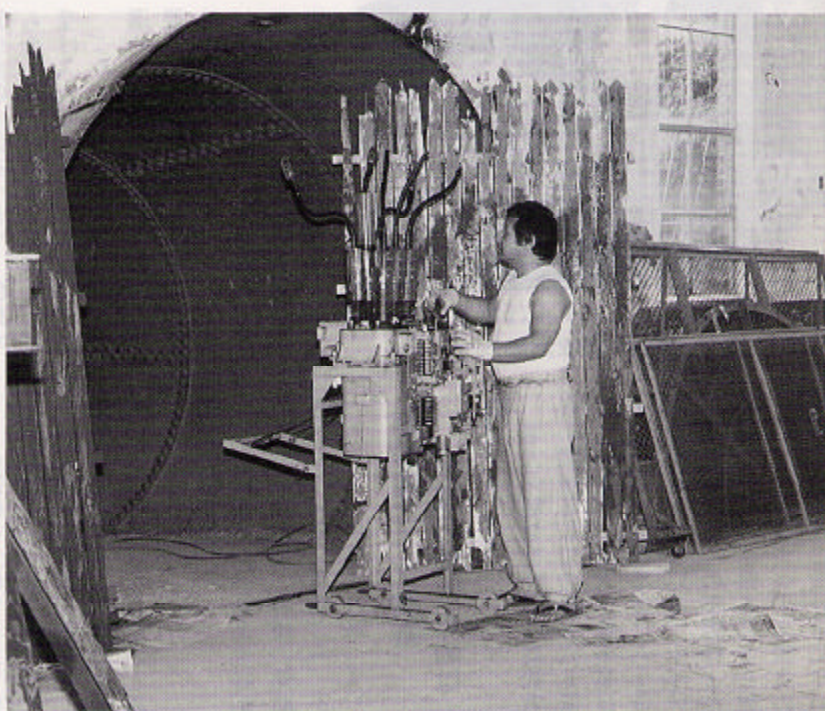
いう意味では町の職員に対しても適度な刺激になるだろうし、柔軟さを必要とする問題に関してはそれなりの効果があったと考えている。県からの出向がなくとも、財政的にも行政の連絡協調の問題についても不自由、不便を感じたことはない。

### シンクタンクの発掘

#### 登用の効果は

問

今や市町村は国や県に対して劣らない優秀な人材「シンクタンク」を十分にストックしている。これらを発掘、登用することにより、現職員を萎縮させることなく、地区民に希望と誇りを持たせ、これに刺激され将来に希望を持てる故郷として定着し、過疎防止等の一助、地方自治法の精神にもかない、一石三鳥、四鳥もの効果を上げると思うが、どのように考えているか。



▲譲り受けた旧発電所で制作にとりくむ芸術家

### 地域住民と行動

#### 要望に応える町政

町長

本町においても優秀な職員がたくさんおり、十分町民の要望に応えた仕事をやっていけると確信している。地方の時代と言われ、その地域で生まれ生活するものが地域のことを一番理解しており、どうしたら発展させるか、育ってきた地域の住民と

一緒に考えて考え行動することが大切でないか。

町の職員の能力を十分に信頼しており、一致協力してその能力を最大限に発揮して町民の要望に応えるよう町政をやっていきたい。

### 下山芸術の森

#### 財源・構想は

問

県下に芸術の町、文化の町と

して高く評価されている本町において、北電の赤煉瓦造りの旧発電所を譲り受け、4カ年計画で四億五千万円を投じ「下山芸術の森」設置が計画されているが、財源についてはどうか。

また周辺整備等についてはどのような構想をもっているか。

### 基本計画立案八月末

#### 起債を充当

町長

基本的には芸術と心のふれあいの場という形で整備促進したい。今年度は下山芸術の森整備委員会が協議をかさね全体の基本計画を八月末までに打つ。放水路跡地は埋立てし、彫刻と湧水を使った前庭にしたい。六年度までには、ここで使うということも含め風力発電の風車の設備やレストラン、展望広場の整備、旧発電所をアトスベースとして内部改修をしたい。七年度では、中沢地区にある沈砂地跡地にアトハウス、アトリエハウスを建設し、アトリエ村として整備したい。

町民と芸術家、学生とのふれあい広場をつくることも大きな目的の一つであり、町民の皆さんも利用できる、入善町ならではのというような建物、活用の方策を考えている。

### 企画財政課長

四億五千万円の財源について



は、国の電源立地促進対策交付金制度に基づき九千五百万円を見込み、1割りは維持管理のために積み立て八千五百万円を施設整備に充当できる。残り三億六千五百万円の七十五割は起債として借り受けるが、この五十三割は交付税の算入があり従来の単独事業に比べ財源的には取り組みやすい事業ではないか。

### 道路整備、管理は

問

三十日の段丘をはさんでの施設であり、下山、中沢地区一体化のため、道路及び落差活用の流や噴水、児童公園の設置、管理等についての計画はどうか。

### 河岸段丘に沿い

#### 道路を整備

町長

道路については、発電所の方から上に通ずる道路は技術的な検討には入っていないが、少し北に道路があるので拡幅し、河岸段丘に沿って道路を整備したいと考えている。

落差を活用した噴水については、下山用水から水がそれほど必要でない時期に少し分けてもらうということをお願いしており、他の施設を含め検討している。環境保全には十分配慮したい。

## 農業経営

### 生涯設計でできる未来を

西尾 政 巳 議員（無所属）

問

最近、全国的に農業を見直す機運が芽生え、各県では各種の就農支援策を設けている。

政府においても、農業の基本政策を盛り込んだ新農政三法を成立させ、農業再生の具体的施策を本格化するが、魅力ある農業経営を実現するには、サラリマン並の所得保障や生涯設計できる未来があってもよいのではないか、農業に対する基本的考えを問う。

### 農業は町の基幹産業

#### 精一杯の対応策

町長

農業をめぐる情勢は非常に厳しく、農業経営体の強化や、食糧自給率の問題など多くの課題を抱えている。これらの問題については町の段階では根本的な解決はできないと考えており、国・県で総合的な対策が確立されなければ、新規的就農が一時的に確保されても、永続的な確

保は困難でないか。

農業は町の基幹産業であるという認識のもと、精一杯の対応策を講じている。

### 農業公社設立の対応は

問

現在町において、集落営農や中核農家の育成、あるいは担い手育成に努力されているが、全国では今年に入り市町村と農協などが出資して、第三セクターの農業公社設立が相次いでいる。

農地保有合理化事業として、作業受託や特産物販売、また農家の慢性的な労働力不足の解消をねらい、農作業請負公社が開始しているところもあるが、本町における対応はどうか。

### 制度の見直し必要

農政課長

農地の賃借権を目指す第三セクターの市町村農業公社、あるいは農作業請負公社については、制度の見直しを図りながら今後

検討して参りたい。

農地の流動化については農地銀行を中心に進めており、実績も伸びて来ている。今後一層活性化を図りながら農地の集積や規模拡大に努めたい。

### 他用途利用米

#### 政府米並価格補償は

問

他用途利用米は転作作物の環境として栽培されているが、未だに全国の需要量、約四十三万トンに対し三十八万トンしか出荷されていない。富山県だけが模範生なのか、百割の出荷をこなせてもよいのか。

また、他用途利用米に対し政府米並に価格補償する市町村もあると聞く。本町では価格補償の考えはないか。

### 差額補償

#### 問題解決にならない

町長

他用途利用米の出荷については、強制されないと国会で政府答弁されている。しかし実際には末端で強制されているのが実態であり、本来ならばやむを得ない措置として返上することも考えられるが、本町だけ返上に踏み切るといことは困難と考えている。また政府米との差額を町の段階で全部補償するといふことは、根本的な問題解決にならないと考えている。

### 国保会計

#### 歳入減額を問う

問

五月の臨時議会において、平



▲農業散布作業の省力、安全化に無人ヘリを導入

成四年度国民健康保険会計の減額予算が可決された。理由は十一・七割の医療費の伸びを見込んでいたところ、四・五割の伸びであったことから減額されたものだが、歳入まで減額すべきものではなく、子備費の増額や次年度への繰越金をより多くもつべきと考える。当局の対応を尋ねる。

### 基金として積立

町長

平成四年度当初予算では、国保財政調整基金より四千九百万円を繰入金として計上していたが、医療費の伸びが低かったことから、結果として取り崩さなくて済んだということである。利息などを含めて基金現在高は五千五百万円である。また決算見込みでは繰越金が一億二千万円程度だと考えている。

### 維持できるか

#### 国保会計

問 近年、出生数の減少、社会保険への加入、あるいは高齢化の進捗など、今後ますます加入者や納税世帯数の減少、高医療、高負担が予想されるが、それでも独立会計として維持できるのか。肉体的弱者の集まりであることを思うとき、福祉的施策としての対応はできないか。

### 国保会計 健全化に自助努力

町長

町としては国保会計健全化の自助努力を重ねており、保険税の収納率の向上対策、医療費の適正化対策としてのレセプト点検、あるいは第三者加害行為などの求償事務、多受診に対する保健指導など強化している。人口増加対策としては、平成五年度において第三子に誕生祝金三万円、第四子には五万円、あるいは第四子の保育料免除などを行うことにした。

将来、国保会計が赤字になったような場合は、一般会計からの繰入金を増額するということも含めて検討をしたい。

## 横山・柗山統合小学校 建設構想を問う

佐藤 学 英 議員（自民）

問

昭和六十三年、横山小学校を考える会が発足し、本年三月横山、柗山の両小学校を統合する方向で推進するため、①設置場所の選定については適地であること②児童の通学路が整備されること③社会体育館の建設を推進されること等の意見を付け町へ提出されたが、統合小学校建設に対する構想を含めどのように考えるか。

### ゆとりと夢のある 教育環境を整備

町長

横山・柗山小学校の建設が統合校として決定され、一連の学校整備の問題について方向づけされたことは、画期的なことと考える。

平成十年までの児童数の推移を見ると、両校で約三百名前後と考えられるので、普通学級十二学級、特殊学級一学級の学校規模になると考えている。

オープンスペースなどで、子供たちにゆとりと夢のある教育環境をつくっていききたい。

平成五年度中に両地区で建設場所を決定していただければ、平成六年度で用地買収を行い、財政状況を見極め二カ年ないし三年の継続事業として建設したい。また統合校の建設地とならなかつた地区には、社会体育館を建設したいと考えている。通学路の問題など多くの課題もあるが、これらの問題についても前向きに対処したい。

### 統合小学校 二十一世紀志向を

問

教育環境が一層充実したものであるためには、校舎以外の施設や、周辺の学習環境も整っていないければならない。

今日まで整備された新校舎の創意、工夫を結集して、木の温もりをもった、二十一世紀志向の統合小学校となるよう期待するがどうか。

### 必要な用地確保を望む

教育長

横山・柗山統合小学校の構想については、子供たちの体験学習が十分できるよう、用地については二万四千平方メートル以上の用地を確保したい。

校舎については、オープンスペースを導入し、ひばり野小学校で試みている木の温もりを十分に取り入れた手法を導入したい。

### 在来校の施設整備 充実の対応は

問

在来校の施設整備については機会あることに要望している。ややもすれば統合小学校がで



▲統合がもたれる両小学校



▲農村基盤整備事業で進む道路改良舗装(高瀬地内)

きるといふことで、在来校の格差に対する安易な考えはないか。残った問題について整備充実をどのように考えているか。

### 最大の整備行う

#### 学校教育課長

在来の木造四校の施設整備については、いずれも将来統合校として新築されるまでの間、これまで同様児童の教育に不都合が生じないよう最大の整備をした。

横山小学校については、当面考えられる大きな工事は終了しているが、統合校の開校まで年月もかかるので、その都度状況を見ながら補修を行いたい。

横山小学校については、今年度は中庭への通路と観察池の整備を予定している。

舟見小学校、野中小学校については精一杯修繕に努めて参りたい。

### 農村基盤整備事業

#### 進捗状況と対応は

問

昭和五十九年の農村基盤総合整備事業の導入は、横山、上原、舟見、飯野西部地区で取り組まれ、農村地域の環境整備と地域の活性化にはかり知れない成果を上げた。まだまだ問題点が多い今日、本事業の早期着工が望まれる。最近の進捗状況と今後の対応はどうか。

また古黒部地区は旧態依然とした農業経営が行われ、環境整備と活性化に大きな障害となっているが、新規事業の取り組みを考えているか。

### 平成四年度末実績

#### 六十割の進捗率

#### 建設課長

農村基盤総合整備事業では、農道の改良舗装、用排水路の改

修、集落内の道水路や消雪施設など、農村環境基盤の整備を中心に事業が進められて来た。

事業の進捗率では、横山地区七十・二割、上原地区六十二・三割、舟見地区五十・一割、飯野西部地区五十四・七割となっている。四地区の総事業費は約十四億七千万円余りであり、平成四年度末実績では八億八千万円、約六十割の進捗率である。

鋭意事業の進捗に努めたい。

また古黒部地区の土地基盤整備事業については、現在のところ整備方策等定まっていないうが、地元関係者の熱意も十分受け止め、補助率、地元負担など考慮に入れながら、例えば二十一世紀型水田農業モデル圃場整備事業の促進など考えられる。

新しい事業が示された折りに関係者のご協力を賜りたい。

### 入川河口

#### 舟溜まりの改修は

問

入川河口の舟溜まりは、ボートの停泊、憩いの場として親しまれてきたが、最近、周辺は荒れ放題、土砂が堆積しボートの出入りに支障を来す状況である。遊漁船の係留地に関する要望もあるところから、これらも含めて舟溜まりの改修と今後の構想も尋ねる。

### 当面の解決策

#### 入川の舟溜まり拡張

町長

自由時間が増大したことから、遊漁船などで楽しむという町民も非常に多くなっている。

町とすれば、水産庁の対象海岸である平曾川の河口、あるいは小川の近くで内陸型のレジャーポイント基地を造るといったことも将来の問題として計画を立てるべきでなかろうか。しかし当面の解決策として、入川の舟

溜まりを拡張するという形で対応したい。

#### 商工水産課長

春日地内にある舟溜まりについては、建設されてから約二十年間たっており、農業水路を水源としているところから、過去五回にわたって浚渫を行っている。今年度も土砂の排除を計画しているが、拡張整備については、国、県との協議が必要である。今後地元とも協議をしながら整備計画を策定し、来年度以降の事業化に取り組みたい。

### 中日本府県町村議会議長会会長

#### 北信越町村議会議長会会長に

石川 議長 就任

去る六月十六日石川県で開催された北信越ブロック会長会議で、北信越五県の町村議会議長会長に選任されました。同時に中日本十五府県の会長も北信越ブロックより選出することとなり、併せて選任されました。

同会長の職務は、全国町村議長会を通じて国に直接要望できる立場にあり、地方分権の確立、あるいは地方議会の進展など高い視野に立った諸問題の解決と、関係地方団体との協議、連絡調整にあたります。

# 常任委員会 審査報告

総務常任委員会 6月21日  
文教厚生常任委員会 6月21日  
産業建設常任委員会 6月22日



▲町合併40周年記念事業  
NHK「のど自慢」予選（7月3日）

当委員会に付託された案件は議案四件、請願二件、陳情一件で、いずれも慎重審議の結果、議案四件は全員一致で原案とお

歳出では第二款総務費、合併

## 総合経済対策に呼応 3億4,800万円を増額

総務常任委員会  
委員長 広瀬喜代志

り可決、請願二件、陳情一件は全員一致で不採択とした。  
議案第二十六号の平成五年度一般会計補正予算は三億四千八百八十七万七千円で、歳入の特徴は、国の補正による総合経済対策に対応した農村基盤総合整備事業、あるいは海岸保全施設整備事業、漁港改修事業などに係わる負担金補助金が主なものである。老人保健医療特別会計繰入金についても医療費確定による清算返納金であり、特に異論はない。

### 合併40周年事業

#### 公費執行に配慮を

四十周年記念事業費七百四十六万五千円は、当初予算において五千七百六十六万四千円と大きな額を計上し、今回さらに補正を行うものであるが、公費の執行という面で今少し配慮に欠けているのではないかと。  
昨今の民間の厳しい経済情勢を考慮するとき、町民の要望する生活環境整備など幾多の課題を抱えながら、安易に補正する姿勢を問うものである。  
また、置県百周年記念事業はなぜ補正で計上されるのか。計画の在り方、県からの支援はどうなのか指摘をしたい。

### 「民間医の公的支援」

#### 陳情は不採択

請願第七号の企業・団体献金の禁止を求める意見書、請願第八号の小選挙区制に反対し、議員定数の抜本是正を求める意見書については、国政の場で議論されてきたところであり、結論の出ていない問題であるが、一地方議会が軽々に論じる問題でなく、不採択とした。

また、陳情第九号の民間医療機関への低利融資・固定資産非課税等の公的支援を求める意見書採択については、国民の健康と命を守る立場は理解するものの、他の公益法人との均衡性を欠くものであり、不採択とした。

## シルバー人材センター 時宜を得た取組み

文教厚生常任委員会  
委員長 九里郁子

当委員会の審議案件は議案第二十六号一般会計補正予算の付託部分、議案第二十七号老人保健医療特別会計補正予算、議案第三十一号母子家庭等医療費助成に関する条例の全部改正の議案三件、陳情一件である。

慎重審議の結果議案三件は全会一致可決すべきものと決した。一般会計歳出のうち、民生費では老人福祉センター管理を町シルバー人材センターに委託されているが、時宜を得た取り組みであり評価する。今後も人材センターの活用について積極的な対応をお願いしたい。

### 中央公衆トイレの

#### 移転改築計画策定を

衛生費では中央公衆トイレの修繕に三十九万円が計上されて

いる。きれいな利用しやすいトイレ環境づくりは大切であり止むを得ない措置と思う。

しかしながら現在、県施工による中央通り線の整備事業が鋭意行われ、早期完成を目指し進められているが、一般町民からすれば工事の進捗状況が遅いという声が非常に強いということも仄聞している。問題は、このトイレが中央通り線の整備事業のため一部取り壊しを余儀なくされ、移転改築が必要であるにもかかわらず町の計画にはないということである。

道路事業担当課では整備の早期完成を目指し、用地交渉や物件の移転に大変な努力を重ねている一方で、町の施設がそのままでは個人交渉への影響、工事の進捗に支障をきたすのは明らかである。大きな事業に取り組み周辺整備、町の施設というものを根本的に考えながら、計画を進められるよう苦言を呈しておきたい。早期対応を強く望む

ものである。

### 学校修繕

#### 安易な補正は疑問

教育費の学校環境の整備は児童・生徒を配慮した対応であり感謝するが、災害等の予測できないものの補正は仕方がないとしても、年度が始まってすぐに大きな修繕費が出てくることに疑問を感じる。事前に調査、設計を進め、当初予算での確に対応されることは町や担当課に課せられた重要なかつ大きな任務であるということを確認しておきたい。

「診療報酬の引き上げ及び改善」を求める意見書採択の陳情について、民間病院の経営難を打開するには診療報酬の大幅な引き上げと改善が必要であるとされているが、医師優遇税制と言われる特別措置があり、なかなか理解できない面もある。研究・検討をしなければならぬということから継続審査とした。

## 基幹道改良・舗装 積極的な対応は評価 農業経営安定に努力を

産業建設常任委員会

委員長 田原 進

一般会計補正予算の当委員会付託部分は、町民からの要望の強い、快適な生活基盤である道路整備の拡充や農村基盤の整備、集落環境整備の一環として基幹道路の改良・舗装、消雪があり、当局の積極的な対応を評価する。

農林水産業費・農業費では、コシヒカリを中心とした良質米生産を基幹に、特産品の安定生産を図り、高品質で生産性の高い農業を目指す観点から、県単土地改良事業、農村基盤整備事業に取り組み、今回七千四百八十八万円の補正があるが、農業経営の安定にさらに努力されるよう望みたい。

### 離岸堤設置

#### 調査・研究を

水産業費では老朽化等により機能が低下した海岸保全施設の



▲改良工事が進む西防波堤（入善漁港）

改良に際し、離岸堤、護岸、植栽、砂浜等を組み合わせた面的な護岸方式により、安全で潤いのある海岸空間創出を図る目的から、さわやか漁村海岸整備事業に取り組み、平成七年の完成を目指している。事業の早期完成を期待するものであり、また、漁港改修についても沿岸漁業の振興に寄与する施設として整備を期待するものであるが、離岸堤の設置によって新たな侵食も懸念されることから、調査研究されて今後の整備に当たっていただきたい。

道路橋梁費では、町単の道路整備に三千六十五万円を追加されるが、道路は地域社会を形成

する重要な社会基盤であり、整備に対する前向きな取組みを評価する。

### 食糧の国内自給

#### 政策の堅持不可決

「食糧の自給確保のための宣言」を求める請願については、本町の基幹である農業をめぐる状況が大きく変化するなかで、米の国内自給政策の堅持と食糧安全保障の確立、米穀政策等の確立は不可欠であり、全員一致で採択すべきものと決した。

米市場開放阻止等に関する請願についても採択し、意見書を政府、関係機関に提出する付帯決議を行った。

# 議会 日誌

(★印は町村議会議長会の職務)

## 五月 (きつき)

- 12日 議員行政視察 (長崎県時津町)
- 14日 (福岡県小郡市)
- 18日 第28回町議会臨時会
- ★20日 天皇陛下主催「園遊会」 (東京)
- 21日 議会運営委員会
- 22日 議会だより編集委員会
- 24日 埼玉県小鹿町議会視察 来町
- 25日 町有林調査



▲町有林の被害状況調査

## 六月 (みなづき)

- ★26日 全国町村議会議長会 (東京)
- 27日 黒東合口用水組合議会 視察 (愛知県)
- 28日 小摺戸地区コミュニティ活性化センター起工式 (一宿地内)
- 1日 日中友好富山県地方議員連盟総会 (富山市)
- ★1日 県町村議会議長会臨時総会 (富山市)
- ★5日 県町対会議長会管外行政視察 (中国)
- 6日 町民ふれあい号 (栃木県)
- ★10日 北陸自動車道促進協議会総会 (上越市)
- ★10日 ジャパンエキスポ博覧会記念組織検討委員会
- 1日 日中友好富山県地方議員連盟総会 (富山市)
- ★1日 県町村議会議長会臨時総会 (富山市)
- ★5日 県町対会議長会管外行政視察 (中国)
- 6日 町民ふれあい号 (栃木県)
- ★10日 北陸自動車道促進協議会総会 (上越市)
- ★10日 ジャパンエキスポ博覧会記念組織検討委員会

## 七月 (ふみづき)

- 11日 議会運営委員会 (富山市)
- ★14日 整備新幹線建設促進総決起大会 (東京)
- 15日 議員全員協議会
- ★29日 第29回議会定例会 (提案理由説明)
- 16日 議会運営委員会
- ★16日 北信越町村議会議長会 (石川県)
- 17日 議会定例会(一般質問)
- 18日 総務常任委員会
- 21日 文教厚生常任委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 23日 納税貯蓄組合総会
- 24日 議会定例会(各常任委員長審査報告・討論・採決)
- 29日 下水道対策特別委員会
- 28日 下新川三町議長会行政視察 (滋賀県・愛知県)

## 八月 (はづき)

- ★9日 盟会総会 (魚津市)
- ★9日 町村議会議長会理事會 (富山市)
- 12日 ひばり野小学校工事安全祈願祭(舟見地内)
- ★15日 中部自治会連絡協議会総会 (富山市)
- 15日 宮城県津川町議会視察来町
- ★16日 中日本ブロック会長会議 (富山市)
- 19日 東京都町村議会議長会視察来町
- 20日 新川広域圏事務組合議会 (魚津市)
- 21日 正・副常任委員長研修会 (富山市)
- 22日 新川広域圏事務組合議会行政視察(宮城県)
- 24日 全国都道府県会長会議 (東京)
- 29日 黒部保健所管内、保健衛生大会
- 30日 宇奈月国際会館竣工式 (宇奈月)
- 3日 入善町戦没者追悼法要
- 4日 議会だより編集委員会
- 5日 第三十回議会臨時会
- 5日 第一回地域児童育成計画策定委員会
- 6日 入善町平和祈念式

## 編集 後記



◆一週間遅れの梅雨も漸く明け、いよいよ夏本番をむかえます。町民の皆さん方の健康を心からお祈りいたします。

♥長崎普賢岳の火砕流、土石流による住民の不安な生活が一年以上経った今もお続き、普賢岳の活発な噴煙を見るとき、一日も早い鎮静化を祈ります。

北海道南西沖地震の津波による一瞬の出来事は、津波の恐ろしさを見せ付けられました。全国から義援金が寄せられています。早期の復旧を祈るとともに、被災者の方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

♣衆議院の解散、総選挙は国民が歴史的な変革を求めており、今後の政局も大きく変動するものと見られます。

◆町議会議員の任期もあと二ヵ月余り、全力を挙げて町政発展に尽力しなければならぬと、気持ちをひきしめているこの頃です。

- 議会だより編集委員会 (S・T)
- 池原金与志 野坂 俊一
  - 広瀬喜代志 九里 郁子
  - 田原 進 五十里隆章
  - 竹内 壮太
  - (オブザーバー) 石川 昭男